

5月30日(月)

18:30 開始 (～20:30終了予定)

戦争は最大の人権侵害です。戦争は市民の知る権利も政治的表現の自由も損ないます。そして戦争をとめる力は広汎な市民の声です。大垣警察市民監視違憲訴訟1審判決では、市民の政治的表現の自由はどこまで認められたか、どこに限界と問題点があるのか。市民社会を守るため、戦争への傾斜を止めるため、私たちが何をすべきかを考えましょう。



市民の政治的表現の自由が 市民社会を守る

～大垣警察市民監視違憲訴訟一審判決を題材に～

講師：愛敬浩二 早稲田大学法学部教授



【愛敬 浩二(あいきょう こうじ)さんプロフィール】

1966年生まれ。信州大学助教授、名古屋大学教授を経て、2020年4月から現職。専門は憲法学。著書として、『改憲問題』(ちくま新書)、『立憲主義の復権と憲法理論』(日本評論社)、編著として、『憲法改正をよく考える』(日本評論社)、『改憲の何が問題か』(岩波書店)、『なぜ表現の自由か』(法律文化社)など多数。

お申し込み方法

申込先QRコード ⇒

- ◆ZOOMウェビナーで行います。Peatixよりお申し込み下さい。

申込先：<https://aikyo220530.peatix.com>

お申し込みのメールアドレスに参加URL等を送ります。

お申し込み頂いていれば、6月29日まで、録画をご試聴頂けます。

- ◆ご不明な点は、no_himitsu@yahoo.co.jp 又は 052-953-8052(内田)にお問合せを。

※ オンライン視聴が困難な方のために、少人数限定で視聴可能な場を設けます。お問合せ下さい。

【参加費 500円、カンパ大歓迎】



秘密法と共謀罪に反対する愛知の会

連絡先：〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-18-22 名古屋第一法律事務所気付(中川)

Email: no_himitsu@yahoo.co.jp

Blog: <https://nohimityu.exblog.jp/>

